中央大見出し（MSゴシック体・太字にしない）

　本文はここから書いてください（MS明朝体）。中央大見出しは中央揃えで，上下を一行あけてください。見出しに番号はつけないでください。

句読点は「，」と「。」を使用してください。統計量を表す記号はイタリック体とし，本文内の数字は半角数字にしてください。強調のための太字や下線は用いないでください。脚注がある場合には，ページごとには入れず，引用文献の後に，ページを変えてまとめて入れてください。

引用については，著者が2名の場合は，引用するたびに両著者名を書いてください。著者が3名以上の場合は，初出の時から第一著者の名前と「他」（英語文献の場合は“et al”）としてください。ただし，省略表記することによって異なる著者の組が刊行年を含めても同じ表記になる場合は，第一著者から順に区別をつけるのに必要な数の著者名を書いてください。

横大見出し（MSゴシック体・太字にしない）

　横大見出しは，行をあけず左端から書き，本文は改行して始めてください。

　横小見出し（MSゴシック体・太字にしない）　横小見出しは，行をあけず左端から全角１字あけて書き，本文は全角1字あけて書いてください。

Tableについて

Tableの上にTable番号とTableの題を書いてください。番号の後は改行し，番号，題とも左寄せとしてください。また，Table番号のみ**Table 1**と太字としてください。Table内の文字や数値，タイトルはMS明朝体にしてください。Table中の見出しと数値は中央揃えとし，Tableの左端の項目は左揃えとしてください。Tableは本文には入れず，別紙にまとめて入れ，右のように，本文余白スペースにTableの挿入個所を示してください。

Table 1を挿入

Tableの注はTableの左下に左寄せでおき，説明文の終わりには句点「。」をつけてください。（説明が文でなく短い語句のときは，句点はつけない。）

Figureについて

Figureの上にFigure番号とFigureの題を書いてください。番号の後は改行し，番号，題とも左寄せとしてください。また，Figure番号のみ**Figure 1**と太字としてください。Figure内の文字や数値，タイトルはMS明朝体にしてください。中の文字が小さすぎないように，かつ鮮明なものにしてください。Figureは本文には入れず，別紙にまとめて入れ，右のように，本文余白スペースにFigureの挿入個所を示してください。

Figure 1を挿入

　Figureの注についてはTableの注を参照してください。

引用文献について

引用文献の記載は，以下の例を参考にし，またメールにリンクした「論文作成の手引き」を必ずご参照ください。

引用文献（MSゴシック・太字にしない）

桑原知子 (1986). 人格二面性測定の試み―NEGATIVE語を加えて　教育心理学研究, 34 (1), 31-38. https://doi.org/10.5926/jjep1953.34.1\_31

柴山 直 (1999). 不完全なデータから総合得点を求める方法　柳井晴夫・前川眞一 (編)　大学入試データの解析―理論と応用 (pp.125-133)　現代数学社

Zimmerman, B. J., Bonner, S., & Kovach, R. (1996). *Developing self-regulated learners: Beyond achievement to self-efficacy.* American Psychological Association. (ジマーマン, B. J., ボナー, S., & コーバック, R.　塚野州一・牧野美知子 (共訳) (2008). 自己調整学習の指導　北大路書房)

付　　記（MSゴシック・太字にしない）

利益相反の有無や研究助成，および謝辞等の追記は「付記」という見出しに統一し，「謝辞」等の他の見出しは用いないでください。